

令和7年度
内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞
厚生労働省推薦

全国ろうあヘルパー連絡協議会

(大阪府大阪市)

【受賞理由】

- 耳が聞こえないろう高齢者と共通の言語(手話)と背景(ろう文化)を持つろうヘルパーが、ろう高齢者の支援を担っている。言語的アクセスの保障を介護の中心に据える取組であり、バリアフリー社会の実現に直結する点を評価。
- 今後、高齢化が進む社会において、きこえる・きこえないにかかわらず、ろう高齢者が最期まで自分らしく暮らすために、同じ言語(手話)と文化(ろう文化)、経験をもつ支援者が日常的に関わる仕組みは、極めて社会的意義の高い実践であり、ろう当事者による介護支援の在り方を社会に示している。



2024年5月12日(土) 創立20周年前期研修会

【 団体概要 】

- 2000年4月の介護保険制度施行と同時に、大阪でろう当事者の運営による訪問介護事業を開始し、2003年11月、正式に「全国ろうあヘルパー連絡協議会」を設立。きこえない・きこえにくい高齢者が年々増加する中、手話をコミュニケーション手段とするろう高齢者に対して、手話言語等でストレスなくコミュニケーションが取れる、きこえない障害をもつ「ろうあヘルパー」による介護支援を行っている。

【 功績・功労 】

- 利用者一人ひとりの言語的・文化的背景を踏まえた支援が徹底されており、利用者自身の安心感や生活の質の向上に大きく寄与している。
- 大阪でろう当事者の運営による訪問介護事業が開始されると、その影響で、ホームヘルパー資格を取得するろう者が全国で増え始め、2003年の活動開始当初は23名だったろうあヘルパーは最大170名まで増えた(現在は77名のろうあヘルパーが活動している。)
- 一般の民間介護事業所からも、利用者であるろう高齢者に関する相談が協議会に寄せられており、協会の枠を超えて全国の相談窓口として機能している。

